

学校研究のテーマ

「児童生徒一人一人が自分の力を発揮し、よりよい生活を送るために必要な資質や能力を育むことを目指した授業づくり」

— 自立と社会参加に向けた自立活動の指導を通して —

〈テーマ設定の理由〉

自立活動の充実

- 前年度までの研究では、自立活動の視点が不十分だった。
- 本校の重点目標や各学部の改善又は努力する事項に、自立活動の充実が挙げられている。
- これから育成すべき資質・能力の3つの柱との関連が大きい。

〈研究仮説〉

協働で検討・検証しながら授業づくり

- 児童生徒のよりよい生活に必要な資質や能力の明確化
- 指導内容や支援の方法、評価方法などについて協働で検討・検証しながらの授業づくり
- ☆児童生徒が主体的に力を発揮しながら生活を送ることができるようになるだろう。

〈研究の目的〉

主体的に力を発揮・よりよい生活

- 児童生徒が主体的に力を発揮しながらよりよく生活を送れるような資質や能力を身に付けることを目指した自立活動の指導の在り方について研究を進める。



- 授業づくり
 - チームワーク
 - 新しい視点
- を大切にならねよう！

〈1年次の取り組み〉

○学部の枠を超えた4つの研究グループで自立活動の視点における資質・能力を協働で整理した。



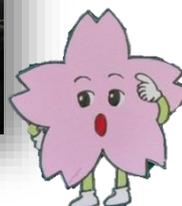
〈2年次（今年度）〉

○重点目標

- 整理した育てたい力の育成を目指した授業づくりを、学部の実態に合わせてより深い視点から行う。
- 児童生徒の自立と社会参加を促す授業の充実に努める。

○研究の進め方

- ①学部ごとにグループを決める。
- ②学部ごとに研究を進める。（11月に縦割りグループで他学部との情報交換会を行う。）
- ③全体報告会（2年次の研究の経過と成果、課題について）・研究集録の作成



学校研究とは別に福島県特別支援教育センターの教育研究にも研究推進モデル校として携わることになりました。センターの先生が来校し、新学習指導要領や教育研究の取り組みの構想についてご説明いただきました。